



# 2015年度（平成28年3月期） 第1四半期連結業績概要

大日本住友製薬株式会社  
2015年7月29日

# 2015年度第1四半期 経営成績

金額単位：億円

	2014年度 1Q実績	2015年度 1Q実績	前年同期比			2015年度2Q		2015年度	
			増減額	うち 為替差	増減率 (%)	従来 予想*	進捗率 (%)	従来 予想*	進捗率 (%)
売上高	897	981	84	75	9.3	1,930	50.8	3,920	25.0
売上原価	241	264	23	8	9.4	510	51.7	1,020	25.8
売上総利益	657	718	61	67	9.3	1,420	50.5	2,900	24.7
販売費及び 一般管理費	570	673	104	68	18.2	1,310	51.4	2,630	25.6
販売費・ 一般管理費	418	472	55	48	13.1	895	52.8	1,760	26.8
研究開発費	152	201	49	20	32.2	415	48.5	870	23.1
営業利益	87	44	△43	△2	△48.9	110	40.4	270	16.5
経常利益	96	47	△48		△50.5	110	43.0	265	17.8
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	58	59	2		3.2	80	74.3	180	33.0
E B I T D A	149	97				215		475	

\* 業績予想の一部を修正

【為替レート】

2014年度1Q実績：1 \$ = 102.2円

1元=16.4円

2015年度1Q実績：1 \$ = 121.4円

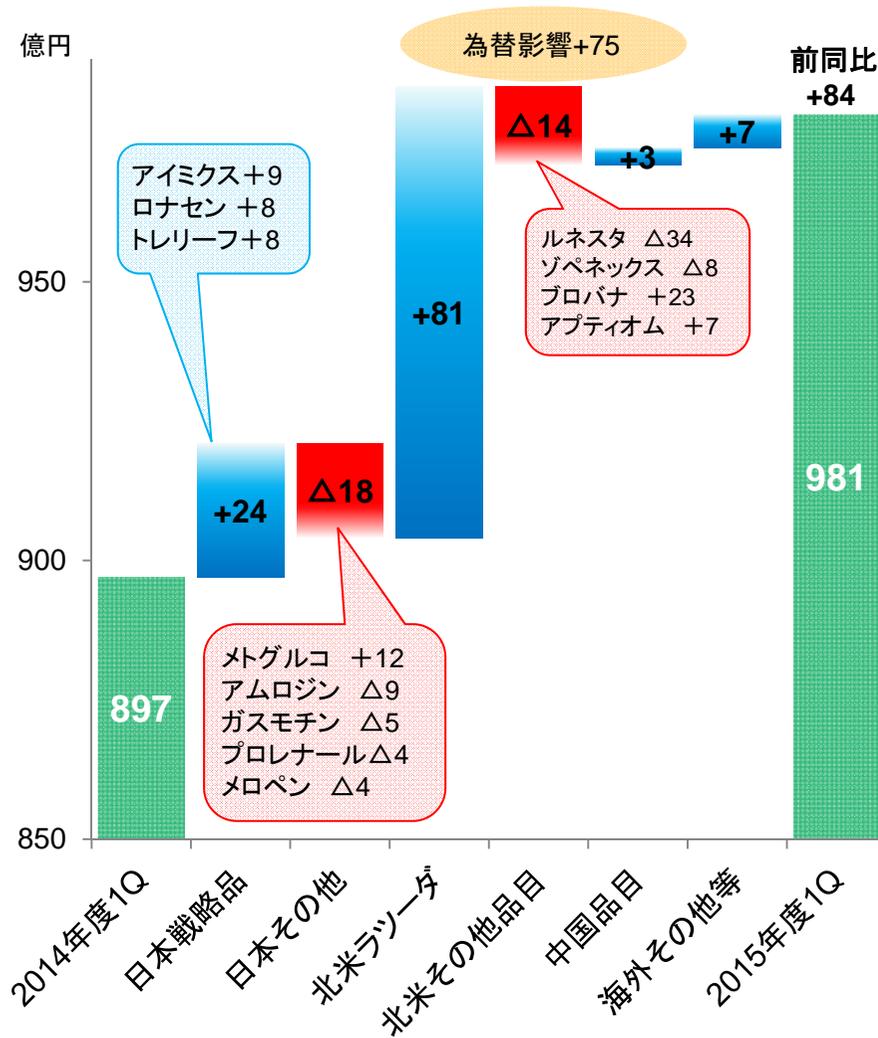
1元=19.6円

2015年度従来予想：1 \$ = 115.0円

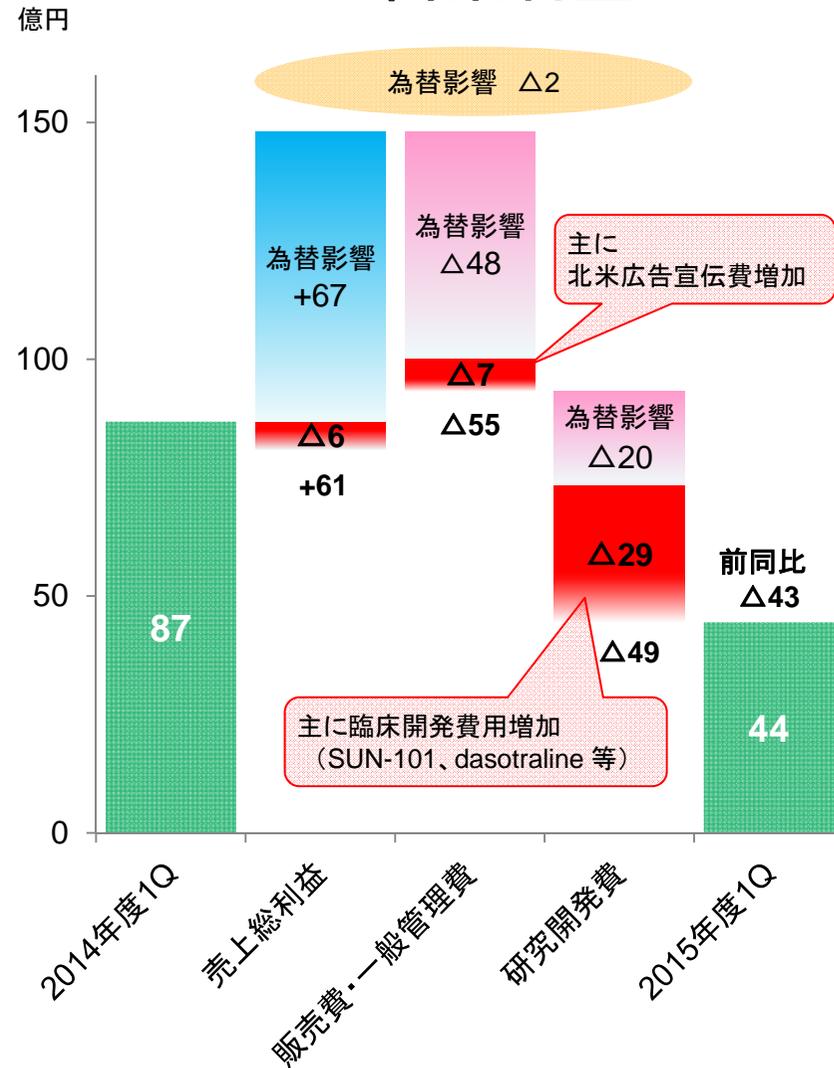
1元=18.5円

# 対前年同期増減

## 売上高



## 営業利益



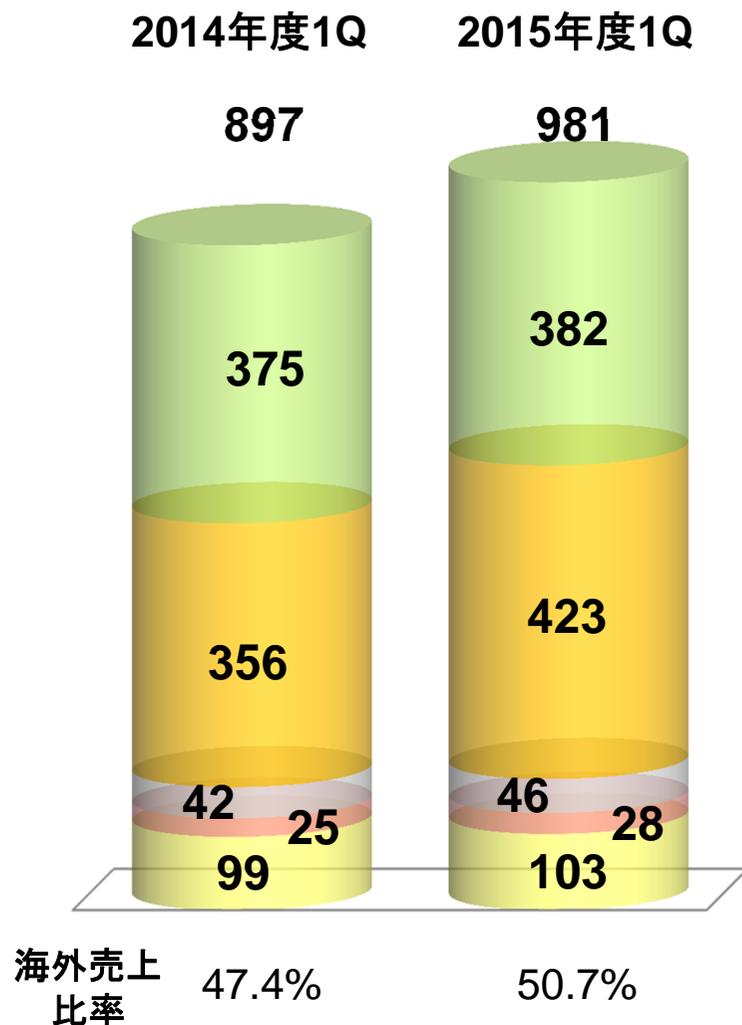
【為替レート】

2014年度1Q実績: 1\$ = 102.2円 1元 = 16.4円

2015年度1Q実績: 1\$ = 121.4円 1元 = 19.6円

# セグメント別 売上高

金額単位：億円



【為替レート】

2014年度1Q実績： 1\$= 102.2円 1元=16.4円

2015年度1Q実績： 1\$= 121.4円 1元=19.6円

前同比  
増減額  
84

前同比  
増減率  
9.3 %

2Q予想  
進捗率  
50.8%

日本	7	1.8 %	48.5 %
北米	67	18.8 %	52.9 %
中国	3	8.1 %	47.6 %
海外その他	3	12.4 %	76.5 %
その他	4	3.9 %	48.9 %

【日本】 戦略品・メトグルコの増加で  
長期収載品の減少をカバー

【北米】 ラツータ、ブロバナの伸長と円安により  
ルネスタの減少をカバー

【中国】 円安により増収

# 主要製品売上高(日本セグメント)

金額単位:億円

	2014年度 1Q実績	2015年度 1Q実績	前年同期比		2015年度2Q累計	
			増減額	増減率(%)	従来予想	進捗率(%)
アイミクス	26	35	9	35.8	78	44.8
アバプロ	28	27	△1	△3.0	58	46.4
ロナセン	23	31	8	32.4	64	48.3
トレリーフ	24	33	8	35.3	70	46.6
<b>戦略品 計</b>	101	125	24	24.2	270	46.4
シュアポスト	5	8	4	75.1	17	48.1
アムビゾーム	9	10	1	8.8	24	41.2
リプレガル	24	28	4	15.3	54	51.3
メトグルコ	36	49	12	33.7	80	61.0
アムロジン	51	42	△9	△17.4	89	47.4
ガスモチン	27	22	△5	△18.0	44	50.6
プロレナール	27	23	△4	△13.6	47	49.1
メロペン	20	16	△4	△18.9	36	45.7
その他	75	58	△17	△22.5	126	45.9
<b>その他の品目計</b>	274	256	△18	△6.5	517	49.6
<b>合計</b>	375	382	7	1.8	787	48.5

(注) 品目別の売上高は、リベート控除前で記載

# 主要製品売上高(北米・中国セグメント)

	2014年度 1Q実績	2015年度 1Q実績	前年 同期比 増減額	2014年度 1Q実績	2015年度 1Q実績	前年同期比	
						増減額	うち 為替差
北米セグメント	(百万ドル)			(億円)			
ラソーダ	180	218	38	184	265	81	42
アプティオム	8	13	4	9	15	7	2
ブロバナ	46	58	11	47	70	23	11
シクレソニド	16	17	1	16	21	5	3
ゾペネックス	24	13	△11	24	16	△8	3
ルネスタ	46	11	△36	47	13	△34	2
工業所有権収入	12	9	△3	13	11	△1	2
その他	16	10	△6	16	12	△4	2
合計	349	349	△0	356	423	67	67
中国セグメント	(百万元)			(億円)			
メロペン	213	193	△21	35	38	3	6
その他	44	41	△4	7	8	1	1
合計	257	233	△24	42	46	3	7

2015 年度2Q累計		
従来予想*		円ベース 進捗率
(百万ドル)	(億円)	(%)
469	539	49.1
19	22	69.0
103	118	59.5
26	31	66.3
18	21	76.7
18	21	62.1
19	22	51.5
24	26	47.3
696	800	52.9
(百万元)	(億円)	(%)
429	79	47.7
90	17	46.8
519	96	47.6

【為替レート】

2014年度1Q実績: 1\$ = 102.2円    1元 = 16.4円  
 2015年度1Q実績: 1\$ = 121.4円    1元 = 19.6円  
 2015年度従来予想: 1\$ = 115.0円    1元 = 18.5円

\* 一部製品の売上予想を修正

# セグメント別 経営成績

金額単位: 億円

		医薬品事業				合計	その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他			
2015年度1Q実績	売上高(外部顧客向け)	382	423	46	28	878	103	981
	売上原価	114	39	10	18	181	83	264
	売上総利益	268	384	36	10	697	20	718
	販売費・一般管理費	142	289	19	7	457	16	472
	うちのれん償却額等	-	19	-	-	19	-	19
	セグメント利益	126	95	16	3	241	5	246
	研究開発費					199	2	201
営業利益					42	3	44	
2014年度1Q実績	売上高(外部顧客向け)	375	356	42	25	798	99	897
	売上原価	112	30	6	14	162	78	241
	売上総利益	263	326	36	10	636	21	657
	販売費・一般管理費	144	237	16	5	402	15	418
	うちのれん償却額等	-	26	-	-	26	-	26
	セグメント利益	119	89	20	5	233	6	239
	研究開発費					150	2	152
営業利益					83	4	87	
増減額	売上高(外部顧客向け)	7	67	3	3	80	4	84
	販売費・一般管理費	△2	52	3	1	54	0	55
	セグメント利益	7	6	△4	△2	7	△1	6
	研究開発費					49	0	49
	営業利益					△41	△1	△43

【為替レート】

2014年度1Q実績: 1\$ = 102.2円 1元=16.4円

2015年度1Q実績: 1\$ = 121.4円 1元=19.6円

# 経常利益および 親会社株主に帰属する四半期純利益

金額単位：億円

	2014年度 1Q実績	2015年度 1Q実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
営業利益	87	44	△ 43	△ 48.9
営業外損益	9	3	△ 6	
経常利益	96	47	△ 48	△ 50.5
特別利益	17	60	43	
投資有価証券売却益	—	60		
受取損害賠償金	17	—		
特別損失	1	2	0	
減損損失	—	2		
事業構造改善費用	1	—		
法人税等	54	46	△ 7	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	58	59	2	3.2

# 2015年度業績修正予想(従来予想比較)

金額単位:億円

	2015年度2Q累計			2015年度		
	従来 予想	今回 修正	増減額	従来 予想	今回 修正	増減額
売上高	1,930	1,975	45	3,920	4,010	90
売上原価	510	518	8	1,020	1,035	15
売上総利益	1,420	1,457	37	2,900	2,975	75
販売費及び 一般管理費	1,310	1,347	37	2,630	2,705	75
販売費・ 一般管理費	895	922	27	1,760	1,810	50
研究開発費	415	425	10	870	895	25
営業利益	110	110	—	270	270	—
経常利益	110	110	—	265	265	—
親会社株主に帰属する当期 (四半期)純利益	80	80	—	180	180	—
E B I T D A	215	217	2	475	478	3

修正内容: 為替レート的前提見直しによる修正

【為替レート】

2015年度従来予想: 1\$ = 115.0円    1元 = 18.5円

2015年度修正予想: 1\$ = 120.4円    1元 = 19.5円

# 2015年度業績予想修正(セグメント別)

金額単位:億円

		医薬品事業				合計	その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他			
2015年度予想	売上高(外部顧客向け)	1,567	1,748	197	74	3,586	424	4,010
	売上原価	480	139	39	43	701	334	1,035
	売上総利益	1,088	1,609	158	31	2,886	89	2,975
	販売費・一般管理費	581	1,051	87	25	1,744	66	1,810
	うちのれん償却額等	-	78	-	-	78	-	78
	セグメント利益	507	558	71	6	1,142	23	1,165
	研究開発費					885	10	895
	営業利益					257	13	270

従来予想比増減	売上高(外部顧客向け)	-	80	10	-	90	-	90
	販売費・一般管理費	-	46	4	-	50	-	50
	セグメント利益	-	22	3	-	25	-	25
	研究開発費					25	-	25
	営業利益					-	-	-

【為替レート】

2015年度従来予想: 1\$ = 115.0円 1元 = 18.5円

2015年度修正予想: 1\$ = 120.4円 1元 = 19.5円

# 臨床開発の現況① (2015年7月29日現在)

## 精神神経領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
アプティオム (SEP-0002093)	eslicarbazepine acetate	(新効能)てんかん(単剤)	米国・カナダ				
ロナセン	ブロナンセリン	統合失調症 (小児用量)統合失調症 (新剤形:経皮吸収型製剤)統合失調症	中国 日本 日本				
ラソーダ (SM-13496)	ルラシドン塩酸塩	統合失調症 双極Ⅰ型障害うつ・双極性障害メンテナンス (新効能)双極性障害メンテナンス	日本※1・中国 日本 米国・欧州等				
AS-3201	ラニレスタット	糖尿病合併症	日本				
EPI-743	バチキノン	リー脳症	日本				※2
SEP-225289	dasotraline	成人注意欠如・多動症(ADHD) 小児注意欠如・多動症(ADHD) 過食性障害(BED)	米国 米国 米国				※3 ※3
トレリーフ	ゾニサミド	(新効能)レビー小体型認知症(DLB)に伴うパーキンソニズム	日本				
SB623	未定	慢性期脳梗塞	米国				
EPI-589	未定	パーキンソン病 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	米国 米国				
DSP-2230	未定	神経障害性疼痛	英国・米国				
SEP-363856	未定	統合失調症	米国				
DSP-3748	未定	統合失調症に伴う認知機能障害	米国				

今回変更部分は赤字で示しています

※1 第Ⅲ相試験終了、今後の開発方針について検討

※2 第Ⅱ/Ⅲ相試験終了、今後の開発方針について検討中

※3 第Ⅱ/Ⅲ相試験

# 臨床開発の現況② (2015年7月29日現在)

## がん領域 (BBI608およびBBI503)

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
BBI608	未定	結腸直腸がん (単剤) (国際共同治験)	米国・カナダ・日本等	新規患者登録の中止			
		胃または食道胃接合部腺がん (併用) (国際共同治験)	米国・カナダ・日本等				
		結腸直腸がん (併用)	米国・カナダ				
		固形がん (卵巣がん、乳がん、非小細胞肺癌、メラノーマ等) (併用)	米国・カナダ				※1
		悪性胸膜中皮腫 (併用)	日本			※1	
		固形がん (併用) ※3、※4 血液がん (単剤／併用)	米国・カナダ				
		肝細胞がん (併用)	日本				
BBI503	未定	固形がん (結腸直腸がん、頭頸部がん、卵巣がん等) (単剤)	米国・カナダ				※1
		固形がん (腎細胞がん、尿路上皮がん、肝細胞がん、胆管がん、消化管間質腫瘍) (単剤)	カナダ				
		卵巣がん (単剤)	米国				
		肝細胞がん (併用) 固形がん (併用)	米国		※2		
		固形がん (単剤)、肝細胞がん (併用)	日本				
BBI608+BBI503	—	固形がん (併用)	米国				

※1 第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅱ相段階

※2 第Ⅰ/Ⅱ相の第Ⅰ相段階

※3 種々のがん種で複数の試験を実施  
(消化器がん、肝細胞がん、膠芽腫、膵がん)

※4 新規試験を開始

今回変更部分は赤字で示しています

# 臨床開発の現況③ (2015年7月29日現在)

## がん領域 (BBI608およびBBI503除く)

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
カルセド (国内販売名)	アムルピシン塩酸塩	小細胞肺癌	中国				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群	日本		※1		
		固形がん	日本				
WT2725	未定	固形がん、血液がん	米国				
		固形がん	日本				
DSP-7888	未定	骨髄異形成症候群	日本		※1		
		固形がん、血液がん	米国				

※1 第 I / II 相の第 I 相段階

## 呼吸器領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
SUN-101	グリコピロニウム臭化物	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	米国				

## その他の領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	国／地域	第 I 相	第 II 相	第 III 相	申請中
DSP-1747	obeticholic acid	非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)	日本				
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本				

今回変更部分は赤字で示しています

# 臨床開発の進捗状況 (2015年5月11日からの主な変更点)

## dasotraline (SEP-225289)

- 米国で過食性障害 (BED) の第Ⅱ / Ⅲ相試験を開始

## BBI608

- 日本で悪性胸膜中皮腫 (シスプラチンおよびペメトレキセドとの併用) の第Ⅰ / Ⅱ相試験の第Ⅱ相段階を開始
- 米国で固形がん (イピリムマブ、ペンブロリズマブまたはニボルマブとの併用) の第Ⅰ相試験を開始

## BBI503

- 米国で固形がん (カペシタビン、ドキシソルビシン、ニボルマブ、ペンブロリズマブ、パクリタキセルまたはスニチニブとの併用) の第Ⅰ / Ⅱ相試験の第Ⅰ相段階を開始

## DSP-7888

- 米国で固形がんおよび血液がんの第Ⅰ相試験を開始

## 新規掲載品目

- EPI-589  
米国でパーキンソン病および筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の第Ⅱ相試験を開始

## 試験終了

- EPI-743  
リー脳症: 第Ⅱ / Ⅲ相試験終了 (日本)、今後の開発方針について検討中

# EPI-743およびEPI-589 開発状況

## EPI-743(リー脳症)の開発状況

- 日本の第Ⅱ／Ⅲ相試験(オープンラベル試験)が終了、主要評価項目であるNPMDS Section1-3合計スコアのベースラインからの変化量で改善が認められた。
- 一方、米国でエジソン社が実施した後期第Ⅱ相試験(プラセボ対照)では、主要評価項目であるNPMDS Section1-3合計スコアのベースラインからの変化量でEPI-743投与群とプラセボ投与群で有意差が認められなかった。現在、エジソン社で追加解析実施中。  
⇒ 以上の試験結果を踏まえ、今後の国内開発方針について検討中。

## EPI-589(パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症(ALS))の開発状況

- エジソン社から日本・北米の独占的な開発・販売権を導入(北米は成人疾患のみ対象)
- ミトコンドリアの機能低下により発生する酸化ストレスを除去することにより、酸化ストレスに起因する神経変性疾患への適応が期待される。
- パーキンソン病、ALSを対象にエジソン社が前期第Ⅱ相試験を開始、後期第Ⅱ相試験以降の日本・北米での開発は当社が実施する予定。

適応症	パーキンソン病	ALS
実施国	米国	米国
目標症例数	40	20
試験デザイン	無対照非盲検	無対照非盲検
主要評価項目	バイオマーカー	バイオマーカー

# 参考資料

# BBI608およびBBI503 開発進捗状況①

## BBI608の開発進捗状況

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始*3
第Ⅲ相	米国・カナダ・日本等	胃または食道胃接合部腺がん(併用)	パクリタキセル	BBI608-336 (BRIGHTER)	2014年8月
第Ⅱ相	米国・カナダ	結腸直腸がん(併用)	セツキシマブ、パニツムマブまたはカペシタビン	BBI608-224	2012年3月
第Ⅱ相	米国・カナダ	固形がん*1(併用)	パクリタキセル	BBI608-201	2011年4月
第Ⅱ相	日本	悪性胸膜中皮腫(併用)	シスプラチンおよびペメトレキセド	D8807005	2015年2月
第Ⅰ相	米国・カナダ	消化器がん(併用)	FOLFOX*2、FOLFOX*2+ベバシズマブ、CAPOX*2、FOLFIRI*2、FOLFIRI*2+ベバシズマブ、またはレゴラフェニブ	BBI608-246	2014年1月
第Ⅰ相	米国	肝細胞がん(併用)	ソラフェニブ	BBIHCC-103	2014年12月
第Ⅰ相	米国	膵がん(併用)	ゲムシタビンおよびナブパクリタキセル	BBI608-118	2014年8月
第Ⅰ相	カナダ	膠芽腫(併用)	テモゾロミド	BBI608-251	2015年3月
第Ⅰ相	米国	血液がん(単剤/併用)	デキサメタゾン	BBI608-103HEME	2015年5月
第Ⅰ相	日本	肝細胞がん(併用)	ソラフェニブ	D8808001	2015年2月
第Ⅰ相	米国	固形がん(併用)	イピリムマブ、ペンブロリズマブまたはニボルマブ	BBI608-201CIT	2015年8月

\* 今回変更部分は赤字で示しています

\*1: 卵巣がん、乳がん、非小細胞肺癌、メラノーマ等

\*2: FOLFOX(フルオロウラシル、ロイコボリン、オキサリプラチンの併用)

CAPOX(カペシタビン、オキサリプラチンの併用)

FOLFIRI(フルオロウラシル、ロイコボリン、イリノテカンの併用)

\*3: 試験開始はClinical Trials.gov掲載内容(2015年7月28日付)

# BBI608およびBBI503 開発進捗状況②

## BBI503の開発進捗状況

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始*2
第Ⅱ相	米国・カナダ	固形がん*1(単剤)	—	BBI503-101	2012年2月
第Ⅱ相	カナダ	腎細胞がん、尿路上皮がん(単剤)	—	BBI503-205a	2015年1月
第Ⅱ相	カナダ	肝細胞がん、胆管がん(単剤)	—	BBI503-205b	2015年2月
第Ⅱ相	カナダ	消化管間質腫瘍(単剤)	—	BBI503-205c	2015年1月
第Ⅱ相	米国	卵巣がん(単剤)	—	BBI503-205GYN-M	2015年6月
第Ⅰ相	米国	肝細胞がん(併用)	ソラフェニブ	BBIHCC-103	2014年12月
第Ⅰ相	日本	固形がん(単剤)、肝細胞がん(併用)	ソラフェニブ	DA101003	2015年3月
第Ⅰ相	米国	固形がん(併用)	カペシタビン、ドキシソルビシン、ニボルマブ、ペンブロリズマブ、パクリタキセルまたはスニチニブ	BBI503-201	2015年8月

\*1: 結腸直腸がん、頭頸部がん、卵巣がん等

\*2: 試験開始はClinical Trials.gov掲載内容(2015年7月28日付)

## BBI608+BBI503の開発進捗状況

開発段階	開発地域	予定適応症	併用薬	試験名	試験開始*3
第Ⅰ相	米国	固形がん(併用)	—	BBI401-101	2015年4月

\*3: 試験開始はClinical Trials.gov掲載内容(2015年7月28日付)

# LATUDA<sup>®</sup> (ルラシドン) 開発進捗状況

## 米国 (自社)

対象疾患	開発段階	今後の予定
双極性障害メンテナンス	第Ⅲ相	試験終了、現在解析中
大うつ(混合症状)	第Ⅲ相 終了	良好な臨床試験成績を入手 添付文書記載を申請予定(2015年度)

## 日本・中国(自社)

適応症・予定適応症	開発地域	開発段階	申請予定
統合失調症	日本	第Ⅲ相 終了	開発計画検討中
双極Ⅰ型障害うつ・双極性障害メンテナンス		第Ⅲ相	2017年度
統合失調症	中国	第Ⅲ相	2015年度

## 欧州(提携)

- 武田薬品との共同開発・独占的販売契約が解消されることになり、権利返還等の具体的条件に関する協議を開始(2015年5月)
- 今後の欧州展開について、新たなパートナーとの提携を含め、あらゆる選択肢を検討
- 契約対象国: 英国を除くEU26ヶ国およびスイス、ノルウェー、トルコ、ロシア  
うち既発売国: スイス、デンマーク、ノルウェー、オランダ、フィンランド  
うち申請国: ロシア、トルコ

## アジア、南米ほか(提携)

- 申請中: 台湾、タイ、香港、シンガポール、ベネズエラ
- 承認取得: オーストラリア(豪州セルヴィエ社と販売提携)

\* 今回変更部分は赤字で示しています

# 主な後期開発品の申請目標 (2015年7月更新)

領域	開発品目	申請目標			
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
精神神経領域	SM-13496<ルラシドン塩酸塩> (統合失調症) 中国	●			
	ラツーダ<ルラシドン塩酸塩> (双極性障害メンテナンス) 米国	●			
	SM-13496<ルラシドン塩酸塩> (双極 I 型障害うつ / 双極性障害メンテナンス) 日本			●	
	AS-3201<ラニレスタット> (糖尿病合併症) 日本		●		
	SEP-225289 <dasotraline> (成人・小児 注意欠如・多動症) 米国			●	
	ロナセン® <ブロナンセリン> (統合失調症 / 経皮吸収型製剤) 日本			●	
	トレリーフ® <ゾニサミド> (レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム) 日本			●	
	SEP-225289 <dasotraline> (過食性障害) 米国				●
がん領域	BBI608 (胃または食道胃接合部腺がん / 併用) 米国・日本			●	
	BBI503 (固形がん / 単剤) 米国・日本			●	
呼吸器領域	SUN-101<グリコピロニウム臭化物> (慢性閉塞性肺疾患) 米国		●		

追加

\* 今回変更部分は赤字で示しています

新有効成分

適応症等追加

# 製品上市計画 (2015年7月更新)

地域	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019～2021年度
国内		※ ルラシドン (統合失調症) ※ EPI-743 (リー脳症)	ラニレスタット (糖尿病合併症) BBI608 (胃または 食道胃接合部腺がん)	ルラシドン (双極I型障害うつ/ 双極性障害メンテナンス) ロナセン (統合失調症/ 経皮吸収製剤) トレリーフ (レビー小体型認知症に 伴うパーキンソニズム) BBI503 (固形がん)	BBI608 (結腸直腸がん等) DSP-7888 (固形がん、血液がん) DSP-1747 (NASH) DSP-6952 (便秘型IBS/慢性便秘) iPS細胞由来RPE細胞 (加齢黄斑変性)
米国	アプティオム (てんかん/単剤)	ラソーダ (双極性障害 メンテナンス)	BBI608 (胃または 食道胃接合部腺がん) SUN-101 (COPD)	dasotraline (ADHD) BBI503 (固形がん)	SB623 (慢性期脳梗塞) DSP-2230 (神経障害性疼痛) SEP-363856 (統合失調症) dasotraline (BED) BBI608 (結腸直腸がん等) DSP-7888 (固形がん、血液がん)
中国		ロナセン (統合失調症) カルセド (小細胞肺がん)		ルラシドン (統合失調症)	
英国			ルラシドン (双極性障害)		

  : 精神神経領域
   : がん領域
   : 肝臓/消化器領域
   : 呼吸器領域  
  : 新有効成分
   : 適応症等追加

※ 開発方針を検討中

# 再生・細胞医薬分野 事業化計画 (2015年5月更新)

	連携先	予定地域	細胞種	実用化に向けたスケジュール					
				2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
慢性期 脳梗塞	サンバイオ	北米	他家 MSC	Ph2b			Ph3		承認目標
加齢黄斑 変性	ヘリオス 理化学研究所	国内	他家 iPS細胞	臨床研究 (自家/他家)		医師主導治験			承認目標
パーキン ソン病	京都大学iPS 細胞研究所 (CiRA)	global	他家 iPS細胞	臨床研究(自家)			医師主導/企業治験		
網膜色素 変性	理化学研究所	global	他家 iPS細胞				医師主導治験		
脊髄損傷	慶應義塾大学 大阪医療センター	global	他家 iPS細胞				臨床研究(他家)		

## 将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。